

性質別（一般会計予算）

支出(歳出)を別の視点から見るができます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

那覇市の一般会計予算（性質別）

金額（単位：千円）

● 義務的経費

人件費	19,292,291
扶助費	44,607,991
公債費	14,076,979
小計	77,977,261

義務的経費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。
・人件費…職員の給料などにかかる費用です。
・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。
・公債費…過去に借り入れた借金(収入の部の「市債」)の返済にかかる費用です。

● 消費的経費

物件費	13,413,652
維持補修費	674,844
補助費等	7,895,479
小計	21,983,975

消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用です。
・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。
・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。

● 投資的経費

普通建設事業費	15,773,425
単独	1,279,095
補助	14,494,330
災害復旧事業費	4
単独	0
補助	4
小計	15,773,429

投資的経費

幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。

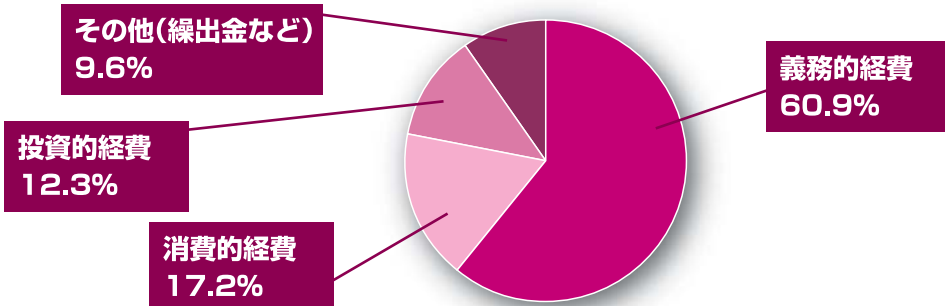
● その他の経費

積立金	1,609,985
投資及び出資金	0
貸付金	357,001
繰出金	10,316,349
予備費	70,000
小計	12,353,335

その他の経費

その他の経費には、上記以外の経費を含めています。
・積立金は、各種基金への積立です。
・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。
・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。

合計 128,088,000



割合はこうなっています



¹/₂₀₀₀₀ に置き換えて…

那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてつくってみました。)

なは家の家計簿

(1年間の支出状況)

支出項目	金額(万円)
食費(人件費)	96
医療費(扶助費)	223
光熱水費・通信費、 その他の支出(物件費など)	120
家の増改築(投資的経費)	79
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰出金)	52
ローン返済(公債費)	70
計	640

なは家の家計簿(支出)の特徴

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の60.9%もあります。

子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われます。食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。



前年度と比べてどんな経費が増えて、どんな経費が減っているの？ おしえて！



扶助費などが増え、公債費、普通建設事業費が減っています。

- 1.「義務的経費」は、約4億円の減となっています。内訳としては、扶助費が生活保護費や小児慢性特定疾患治療研究事業などの増により、約12億7千万円の増となっている一方で、人件費は約3億5千万円の減、また、公債費は約13億2千万円の減となっています。
- 2.「消費的経費」は、那覇港管理組合補助金などの増により約33億円の増となっています。
- 3.「投資的経費」は、新庁舎建設事業、小禄中学校校舎建設事業の終了などにより、約5億8千万円の減となっています。
- 4.「その他の経費」は、那覇市施設整備基金積立金などの増により約1億7千万円の増になっています。

収入(歳入)の家計簿は、p6に記載しています。

扶助費が多いんですニャ～

